

計画名: カーボンニュートラルに資する未利用熱から高温と冷熱を同時生成するサーマルトランジスタの実用化開発

- 主たる研究等実施機関: 森松工業株式会社(岐阜県)
- 共同研究等実施機関: 学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学、  
国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
- アドバイザー: アサヒクオリティーアンドイノベーションズ株式会社(茨城県)
- 川下事業者: 製造による未利用熱が発生している工場全て
- 事業管理機関: 公益財団法人岐阜県産業経済振興センター(岐阜県)
- 主たる技術: 製造環境
- 研究開発概要:

熱需要は燃料依存が高く、温暖化ガス排出削減に向けては未利用排熱の徹底したリサイクルが不可欠である。排ガスから利用可能と推定される排熱量だけで原油換算1千万kL/年以上にも相当し、温排水を含めて実質的に熱回収しうる80°C程度の温水から120°Cの高温と7°Cの冷熱を同時生成するサーマルトランジスタの最適システムと制御技術を確立し、実用化開発と社会実装により産業分野のカーボンニュートラルの実現に貢献する。

